

令和4年度事業計画

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

基本方針

新型コロナウイルス感染症の脅威といういまだかつてない事態は、収束の気配を見せず、専門家からは、さらなる変異ウイルスの登場が最大のリスクと考えられており、このことが経済停滞をもたらし会員の拡大・就業機会の拡大に取り組んできたシルバー人材センターにとって多大な影響を及ぼしております。

また、シルバー人材センターを取り巻く環境は、昨年度一部が改正された「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」により70歳までの就業機会確保の努力義務やインボイス制度（適格請求書等保存方式）の導入など、今後シルバー人材センターの事業運営はますます厳しくなると思われます。

このような高齢社会の変化に対応するため、当センターでは令和3年度から7年度の中長期計画（後期計画）を策定し皆様の更なるご支援・ご協力を得ながら就業機会の確保と会員の増強及び育成に努め、地域社会からの期待に応えられるシルバー人材センターを目指し施策を進めてまいります。

今年度は、中長期計画書（後期計画）に基づき、請負と派遣を併せた契約金額は合計5億5千万円、就業率は85%、会員数については1,204人を目標といたしますが、更なる会員数の増を目指します。

適正就業については、適正就業ガイドラインに沿った業務運営を行うとともに請負・委任・派遣の働き方の違いなど、適正就業の確保に努め、長期就業の是正や職群班活動を通じて会員の協力を得ながらワークシェアリングを図ってまいります。

昨年度、当センターで13件の傷害事故と賠償事故が発生しました。安全就業はセンター事業の根幹をなすところであり、事故ゼロを目標に当センターでは会員皆様の健康と安全を第一と考え、事故防止の啓発・指導を行い安全・安心な職場環境の整備に努めてまいります。

今後も公益性の高い事業展開を行い、事業発展のため以下のとおり実施計画を策定しセンター事業を推進してまいります。

実施計画

(1) 中長期計画の推進

中長期計画の後期計画（令和3年度から令和7年度）のもと、当センターの発展に向け、計画的な事業運営を図ってまいります。

(2) 就業機会の拡大

会員の多様な就業ニーズに応え、一人でも多くの会員が就業機会を得られるよう、就業開拓活動を強化し、就業機会の拡大を図ります。

- ア 会員の技能・資質の向上及び就業機会の拡大を図るため、各種講習会の開催（植木剪定、襖・障子の張替え、清掃作業、接客（接遇）マナー、自転車リサイクル、リーダー研修）
- イ 職群班を通して、会員の能力を把握し、能力に応じた就業を提供
- ウ 長期就業の是正、就業の基準に関する要綱を順守し、ワークシェアリングを積極的に推進
- エ 就業率の向上を図るため、未就業会員向けの就業相談会の開催
- オ 高齢者の多様なニーズに応えるため、「公益財団法人いきいき埼玉」の実施事務所として労働者派遣事業と職業紹介事業を実施し、就業の場を確保
- カ 手芸の会による縫製作業を通じて子育て支援を図る
- キ 派遣コーディネーターを積極的に活用し、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を推進
- ク 三郷市と締結した協定により、空家等の適切な管理を促進するため、空家等対策を進めて就業機会を拡大
- ケ 就業機会の公平化と利便性を図るために、事務局や各公共施設に「お仕事情報」を掲示するとともに、ホームページ・SMS送信サービス（ショートメッセージサービス）を積極的に活用し就業情報を提供
 - 「お仕事情報」掲示施設（市内公共施設17ヵ所）
 - ①東和東地区文化センター（新和3丁目）②鷹野文化センター（鷹野4丁目）③高州地区文化センター（高州3丁目）④高州地区体育館（高州3丁目）⑤ふれあいの郷下新田（高州1丁目）⑥コミュニティセンター（戸ヶ崎2丁目）⑦戸ヶ崎老人福祉センター（戸ヶ崎3丁目）⑧戸ヶ崎ふれあいひろば（戸ヶ崎）⑨文化会館（早稲田5丁目）⑩岩野木老人福祉センター・岩野木集会場（岩野木）⑪総合体育館（茂田井）⑫彦成地区文化センター（彦野1丁目）⑬彦沢老人福祉センター（彦沢1丁目）⑭ピアラシティ交流センター（泉2丁目）⑮瑞沼市民センター（上彦名）⑯世代交流館ふれあいパーク（彦成2丁目）⑰老人憩いの家やすらぎ荘（彦成4丁目）

(3) 安全就業の推進

安全就業と適正就業がセンター事業の基本であることを認識し、安全・適正就業委員会活動の充実を図り、会員の就業中や就業途上における事故防止の啓発・巡回指導等の強化に努めます。

- ア 安全・適正就業委員会による月1回の定期的な就業現場訪問の実施及び会員の安

全意識の徹底と発注者へ安全就業の協力を要請

- イ 作業に適した安全保護具を貸与し、着用の徹底を確認
- ウ 交通法規の順守による途上事故の防止
- エ 安全意識の高揚を図るため安全標語の募集及び安全講習等の開催
- オ 「気をつけて」の一声運動の推進や広報紙などによる安全意識の啓発
- カ 会員の健康寿命の延伸のためフレイル予防を推進

(4) 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの事業内容や仕組みを多くの市民に周知するとともに、就業拡大につながるよう普及啓発活動を推進します。

- ア センター事業や新規会員の入会促進などを市民に広くPRするため、ホームページや市発行の「広報みさと」の積極的な活用
- イ 産業フェスタの参加や普及啓発促進月間（10月）において、普及啓発活動の実施
- ウ 広報紙「シルバーみさと」等の充実
- エ ハローワーク草加との連携による「生涯現役支援シニア就労相談会」の実施
- オ 公共交通機関やデジタルサイネージによるPR事業の推進
- カ シルボンヌ講習会による女性会員の入会促進

(5) ボランティア活動

地域班組織を中心としたボランティア活動を実施し、地域社会に貢献します。

- ア 10月第3土曜日「シルバーの日」に駅前周辺及び公園の清掃活動の実施
- イ 市内各地域の環境美化活動の実施

(6) 組織体制の強化

組織の強化を図るため、会員の自主的な活動の育成と自立した運営の推進に努めます。

- ア 地域班や職群班組織の充実
- イ 理事会、部会、委員会活動の充実
- ウ 事務処理の合理化と経費の節減
- エ 入会希望者説明会から新会員研修会までの日程を短くし、早期の就業機会を提供

(7) 会員相互の連携強化

地域班長を中心として、地区懇談会を実施するなどのほか、手芸の会などの共働作業を通じて、会員相互の親睦と連携を図ります。